

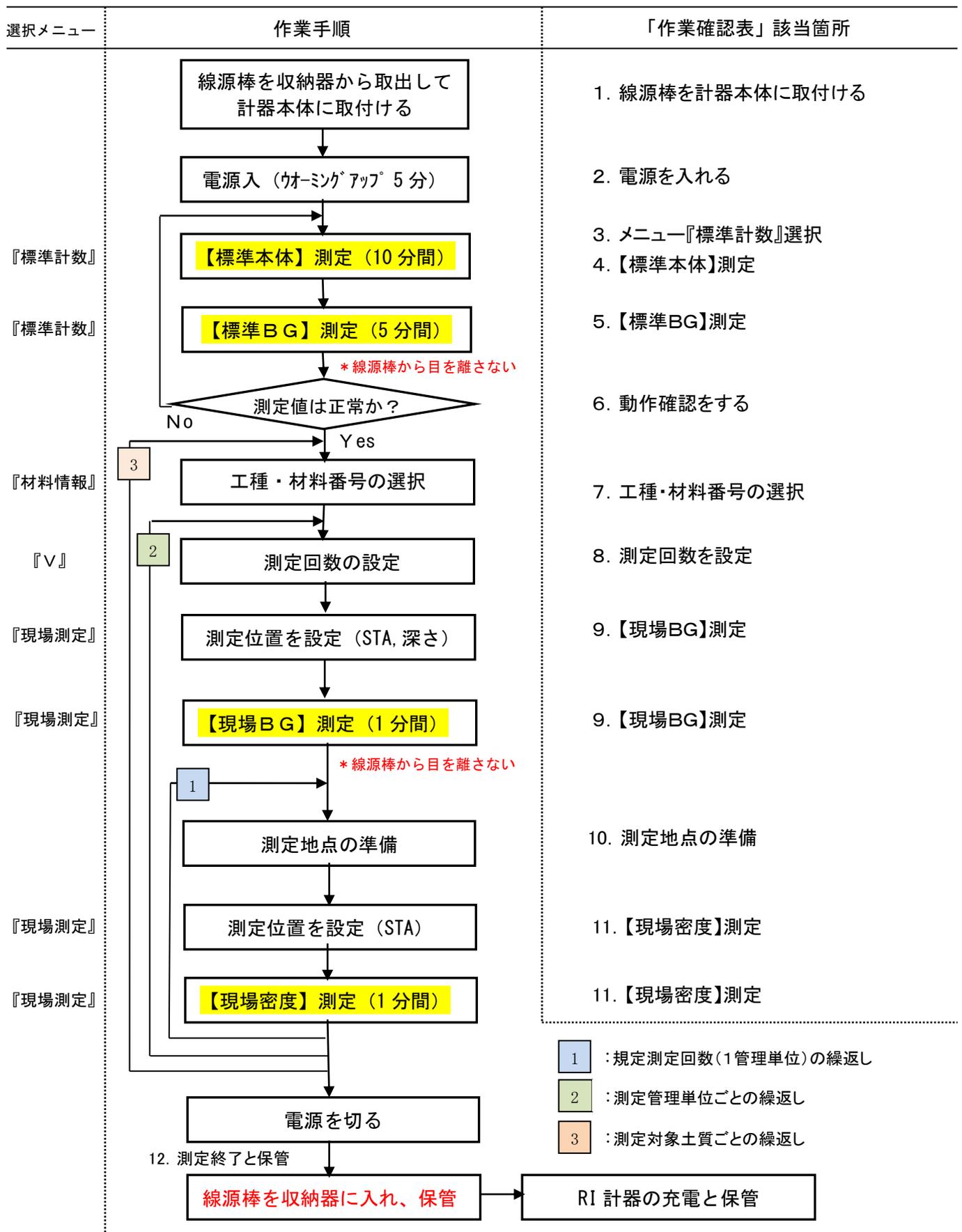
FT-102V 型 R I 計器
簡易操作説明書

《現場測定の手順》

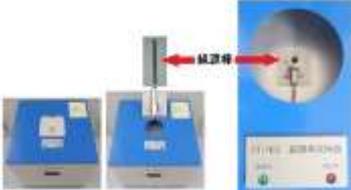
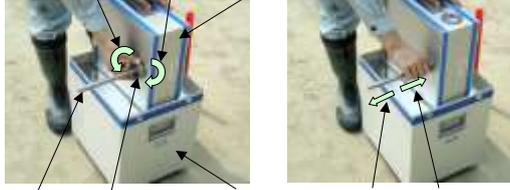
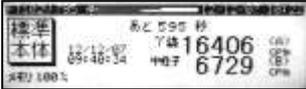
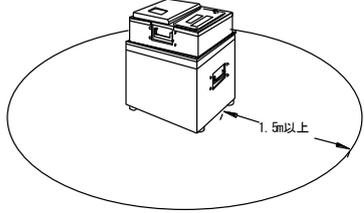
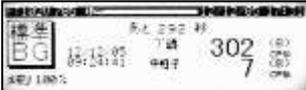
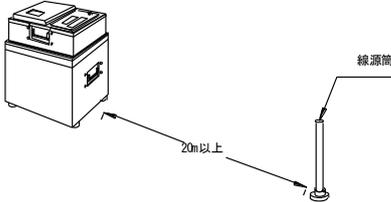
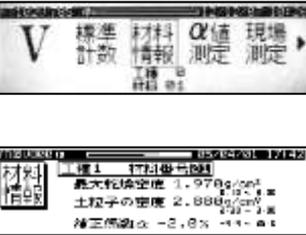
株式会社 フィールドテック

日常の盛土測定手順を示します。

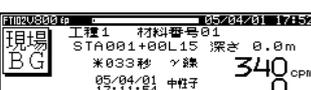
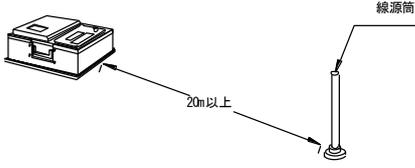
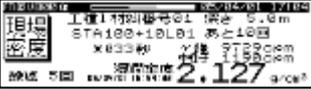
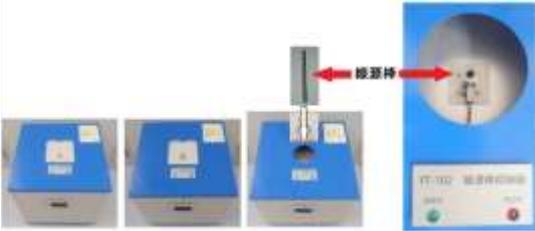
測定対象土の材料情報（最大乾燥密度・土粒子の密度・ α 値）を予めRI計器に設定して下さい。



作業確認表

計器操作・作業	計器動作	状態及び注意等
<p>1. 線源棒を計器本体に取付ける 線源棒収納器から線源棒を取出して、計器本体に取付ける。</p>	<p>線源棒の取出しと取付け</p> 	
<p>2. 電源を入れる つまみを回してコントラストを調整する。</p>	<p>ウォーミングアップ5分</p> 	
<p>3. メニュー『標準計数』選択 ① [方向キー] を押して『標準計数』を選択する。 ② [実行] キーを押す。</p>		
<p>4. 【標準本体】測定 ① 標準体を土・アスファルト・コンクリート上に置く。 ② 標準体の周り 1.5m以内に障害物がない状態にする。 ③ [実行] キーを押す。</p>	 <p>①測定中は残り秒を表示。 ②10分後にブザーが鳴り、終了。 ③自動的に【標準BG】画面に変わる。</p>	 <p>【注意】測定中に計器を動かすと再測定。</p>
<p>5. 【標準BG】測定 ① 計器本体から線源棒を取外す。 ② 線源棒を線源筒に入れ、計器から20m以上離す。 ③ 計器本体を標準体上に設置する。 ④ [実行] キーを押す。 ⑤ 測定終了後、線源棒を計器本体に取付ける。</p>	 <p>② 測定中は残り秒を表示。 ②5分後にブザーが鳴り、終了。 ③自動的にメニュー画面に戻る。</p>	 <p>【注意】線源棒を紛失しないように、線源棒から目を離さない！</p>
<p>6. 動作確認をする メニュー『標準計数』下の()内のアルファベットを確認する。</p>	 <p>A～L : 正常 M～Z,* : 問題あり</p>	<p>【注意】 M～Z,*の場合は、取扱説明書を参照し、原因を取除いて再測定する。</p>
<p>7. 工種・材料番号の選択 ① [方向キー] を押して『材料情報』を選択する。 ② [実行] キーを押す。 ③ [方向キー] を使って <工種・材料番号> を選択する。 ④ [実行] キーを押す。</p>		

作業確認表

計器操作・作業	計器動作	状態及び注意等
<p>8. 測定回数を設定</p> <p>①  を押してメニュー『V』を選択する。</p> <p>② [実行]キーを押す。</p> <p>③   を使って「繰返」回数を設定する。</p> <p>④ [実行]キーを押す。</p>	 	<p>【備考】</p> <p>一層当たりの施工面積により、規定測定回数(1管理単位)が決まられているので、その回数を設定する。</p>
<p>9. 【現場BG】測定</p> <p>①  を押してメニュー『現場測定』を選択する。</p> <p>② [実行]キーを押す。</p> <p>③ 計器本体から線源棒を取外す。</p> <p>④ 線源棒を線源筒に入れ、計器から20m以上離す。</p> <p>⑤ 計器本体を測定対象土上に設置する。</p> <p>⑥ 測定位置(STA、深さ)を設定する。</p> <p>⑦ [実行]キーを押す。</p> <p>⑧ 測定終了後、線源棒を計器本体に取付ける。</p>	  <p>①測定中は残り秒を表示。</p> <p>②1分後にブザーが鳴り、終了。</p> <p>③自動的に現場測定の共通情報を印字し、【現場密度】画面に変わる。</p>	 <p>【注意】 線源棒を紛失しないように、線源棒 から目を離さない！</p> <p>【備考】 測定位置の深さは、土工最終仕上がり高からの深さ等。</p>
<p>10. 測定地点の準備</p> <p>①ベースプレートを使って広く均す。</p> <p>②打込み棒で孔をあける。</p> <p>③打込み棒を引抜く。</p> <p>④ベースプレートを取る。</p>	<p>準備作業</p>   	
<p>11. 【現場密度】測定</p> <p>①RI計器を地面に設置する。</p> <p>②測定位置(STA)を設定する。</p> <p>③[実行]キーを押す。</p> <p>1測定が終了すると <10.. 測定地点の準備>から繰返す。</p>	 <p>①測定中は残り秒を表示。</p> <p>② 1分後にブザーが鳴り、測定データを印字して終了。</p> <p>③設定した測定回数が終了すると、平均値、最大・最小値、標準偏差を自動印字。</p>	  <p>【注意】 1測定が終了すると、次の測定箇所へ移動して測定する。</p>
<p>12. 測定終了と保管</p> <p>①計器本体の電源を切る。</p> <p>②線源棒を線源棒収納器に入れて鍵をかけ、事務所へ移動し、保管する。</p> <p>③計器本体を充電し、保管する。</p>	<p>線源棒の収納</p> 	<p>計器の充電</p> 

以上